

令和 5年度（4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	男女共同参画・協働推進
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2275
	基本事業	協働事業の充実		事業実施主体	市
	事務事業	ボランティア・市民活動推進事業（男女共同参画・協働推進課分）		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市における市民活動の促進と協働の推進を図るため、高松市協働づくり懇談会による協働推進施策・コミュニティ施策についての意見聴取や、協働推進員への人材養成研修を行うなど、多様なパートナーシップによるまちづくりを推進する。		
5年度概要	特定非営利活動法人認証等事務 高松市協働づくり懇談会等開催 所属担当協働推進員研修等開催 市民活動保険		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	市内に主たる活動拠点がある市民活動団体等 高松市職員
意図（どのような状態にしたいか）	市民活動の促進と協働の推進を図る。また、研修を通して、職員の協働への意識改革を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
所属担当協働推進研修実施回数	回	3	2	2	3	3
市民活動センター講座等数	回	31	30	37	36	36

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	所属担当協働推進研修受講者数	人	目標値	193	193	193	193	193
			実績値	76	62	161		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、受講対象者を拡充したことにより、実績値は回復傾向にあるものの、目標を達成できなかった。 (目標達成度)					(達成度)	83.4%	
								29点
成果指標	市民活動センター利用登録団体数	団体	目標値	330	330	330	330	330
			実績値	384	399	402		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市民活動センターを平成28年度から瓦町FLAGに移転したことに伴い、活動拠点の確保等、機能が強化されたことから、利用登録団体数は年々増加し、当初の目標値を上回った。 (目標達成度)					(達成度)	121.8%	
								35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	6,663	4,272	4,234	5,445
（事業費）	[円]	2,548	119	118	1,329
（職員人件費）	[円]	4,115	4,153	4,116	4,116

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

行政との協働事業の経験が豊富な市民活動団体の代表者を講師に招き、内容の充実を図ることができた。今後、協働推進員が主体的に関わることができるなど、研修内容の更なる充実を図る必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

協働推進員の人材養成研修の実効性をより高めることで、市民活動団体等と多様なパートナーシップを構築できる能力を養成し、協働を推進するとともに、市民活動団体等の育成に取り組んでいく。

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	コミュニティ推進課
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2277
	基本事業	協働事業の充実		事業実施主体	市
	事務事業	ボランティア・市民活動推進事業（コミュニティ推進課分）		事業期間	平成28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	地域コミュニティ協議会と行政との協働によるまちづくりを推進するため、地域担当協働推進員をはじめとした市職員向けの研修を行う。		
5年度概要	地域担当協働推進員研修事業		
重点取組事業	市長マニフェスト	3-	事務事業の種類

【事業の目的】

対象（何を）	高松市職員
意図（どのような状態にしたいか）	研修を通して、地域コミュニティ活動に関わる職員の協働への意識改革を図る。また、同一区内に住む職員のリーダー的な役割が担える人材に養成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
地域担当協働推進研修実施回数	回	2	1	2	4	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	地域担当協働推進研修受講者数	人	目標値	220	240	220	220	220
			実績値	50	14	39		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新型コロナウイルスの影響により、オープニングミーティングは、新任の地域担当協働推進員に書面開催とした。1月に地域の活動を知ってもらうことを目的に、集合形式の研修を実施したが、研修実施回数及び受講者数ともに目標の達成に至らなかった。							(達成度) 17.7% 6点
				目標値				
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
				目標値				
			実績値					

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	4,489	3,781	5,245	5,399
（事業費）	[円]	0	6	6	160
（職員人件費）	[円]	4,489	3,775	5,239	5,239

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
------------	---	--------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、地域での活動も少なく、研修も予定通り実施することができなかった。令和5年度から、すべての総合センターが稼働することに伴い、地域との更なる協働を推進するため、地域担当協働推進員制度を拡充することとし、これまでの各地域1人体制から、各地域3人体制に見直すこととなった。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

令和5年度より地域担当協働推進員制度が見直しとなることに伴い、地域との架け橋を担う職員の意識向上等を図るため、研修や情報共有の機会の創出に取り組んでいく。また、地域の人たちにも、協働推進員に対する理解を深めてもらう機会もつくる必要がある。